

2. 中長期的な課題検討

「重点プロジェクト」に掲げる内容のほか、新しいエネルギー社会の実現に向けて、中長期的な観点から更なる可能性を追求するため、以下に掲げる項目例に関して検討を行います。

なお、大規模水力発電や天然ガス等の火力発電の立地可能性について、平成24年度（2012年度）に調査を実施し、様々な課題を整理しましたが、その後の状況変化等を踏まえながら、可能性を更に追求していくこととします。

(例)

◆琵琶湖の水エネルギー活用

- 琵琶湖の湖底・湖中の水温と大気温との温度差エネルギーの地域冷暖房等への活用可能性

◆「風の道」を活かしたまちづくり

- 夏季の暑熱対策としての、湖水の熱容量が大きい琵琶湖を有する本県の特徴である「湖陸風」による「風の道⁵」など自然を活かしたまちづくりの可能性

◆民間資金を活用したプロジェクト組成

- 広域的な観点も視野に入れた民間資金を活用したエネルギー関連事業のプロジェクト組成の可能性

◆バーチャルパワープラント

- 高度なエネルギーマネジメント技術により、電力グリッド上に散在する①再生可能エネルギー発電設備や②蓄電池等のエネルギー設備、③ダイヤモンドリスponsなど需要家側の取組を統合的に制御し、あたかも1つの発電所のように機能させる「仮想発電所（バーチャルパワープラント）」の実現可能性

⁵ 都市の中心部の大気を冷やす効果のある、郊外から都市内に吹き込む風の通り道

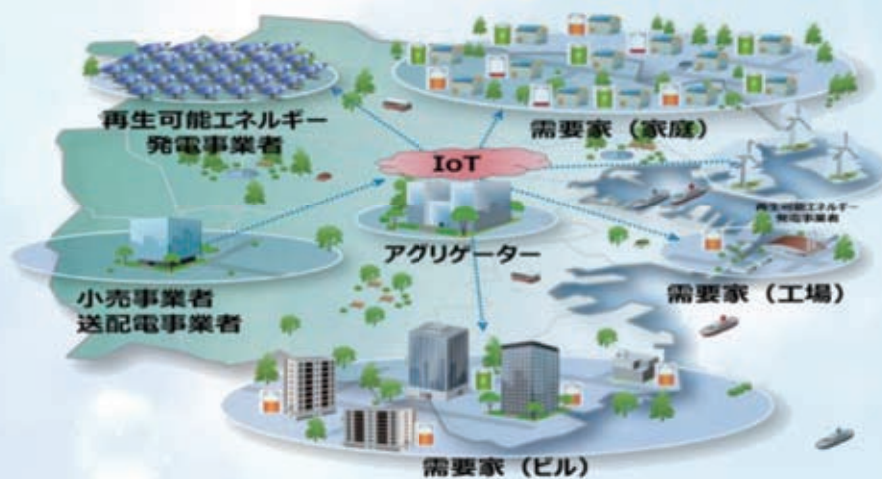


図 3-39 バーチャルパワープラント(イメージ図)
 (出典) 資源エネルギー庁資料